

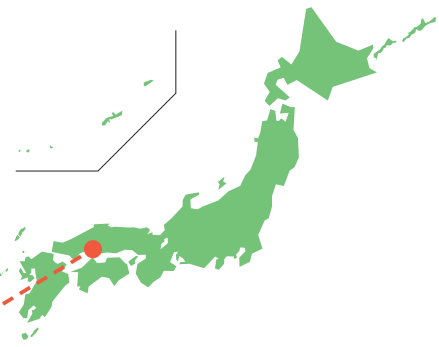
写真で見る

# 都市の変遷

## 今と昔の風景

地域の発展や変化にあわせて  
移り変わってきたまちの姿。  
今と昔を写真とともに振り返ります。

みはら  
**三原市** (広島県)



**令和  
4年  
(2022年)**



線路は高架化し海岸の一部は市街地となっている



三原市教育委員会  
文化課文化財係  
やまさきあいちろう  
**山崎愛一郎**さん

### 城跡と山陽本線が交わるまち「三原市」

海あり、山あり、島あり、城下町ありの三原に、今から128年前の明治27年、山陽鉄道が開通しました。三原駅は、三原城跡の本丸御殿の上に建てられており、城跡の中に駅舎がある国内でも例を見ない駅です。市街地は埋め立てが進み、企業城下町の駅として乗降客が急増し、昭和50年に山陽新幹線も開通。平成3年には鉄道高架が完成し、まちの南北の交通渋滞が緩和されました。翌年、現在の三原駅周辺が整備され、現在のまちの形となりました。



**明治  
36年  
(1903年)**

三原城跡を横切る蒸気機関車の煙が見える